



時間による変化を
あえて楽しむアイデア

フォルムは、海に浮かぶ船をイメージした。外壁には工事中に出土した廃材などを活用。あえて塗装しないことで、光や雨雪による色の変化を楽しむことができる。植栽が生長すれば、緑とその影が、また新しい景色を創り出す。



建造物 [オフィス]

ココを味わう 適度な開放感を持つ
芸術的な空間

2階の作業スペースなど一部を除いてガラス張りにし、外からの視線にも、中からの視線にも緊張を強いることのない、適度にオープンな空間とした。階段状のスペースは演奏会の観客のためのもの。2階のテラスにはミニ図書館とミニ美術館があり、音楽とともに楽しめる仕掛け。

屋外の上面にも木材を使用。側面の木材との色の差も、「とき」の流れの証。



駐車場を建物の奥に配置したことも、魅力的な緑化につながった。



ACCESS

北区北36条西2丁目
●地下鉄南北線「北34条駅」下車、
1番出口より徒歩約5分

- 建設主／株式会社 六書堂
 - 設計者／スタジオ・シンフォニカ有限会社
 - 施工者／桧山建設総業株式会社
 - 完成年次／平成19(2007)年



自然を取り込んだデザイン空間で、ゆったりとお茶したい

縁あふれるエントランス、開放的なテラス席、ゆったりしたソファ。少し贅沢な気持ちになれそうな、さまざまな空間を持つカフェ。ハヤシライスやオムレツなどフードメニューのほか、もちっとした食感が独特のクレープをはじめスイーツメニューも充実している。自家製もちもちクレープ(250円)

などテイクアウトメニューもあるから、気軽に立ち寄ってみて。四季折々の日差しや自然を楽しみながら、ゆったりと時間を過ごしてみよう。

SALU SALLUZA cafe terraza(サル サルーザ カフェ テラーザ)
北区北31条西2丁目1-5
TEL-011-758-0363

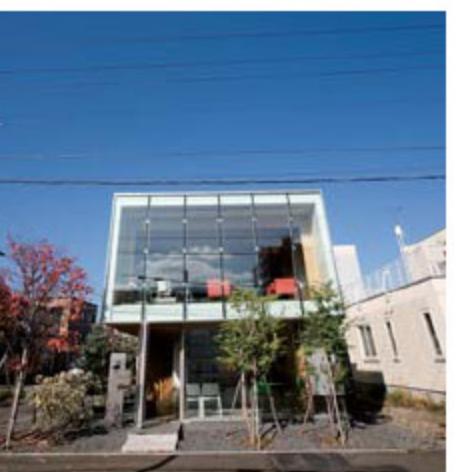
さっぽろの顔を味わう。

第14回 札幌市都市景観賞受賞作品



敷地の使い方に工夫して緑の空間を創出。
時間の流れも楽しみな建物

六書堂 新社屋「ときの杜」



角地に建つ建物は、周辺の街並景観を牽引する場所性を保有しています。「ときの杜」の建物は、敷地に対し建物を少し斜めに振って建築することで角地に余白の空間を創出しそれを活用して建物を隠す工夫で植栽するデザイン手法で、街角を緑化しています。駐車場は敷地の奥に配置して歩行者目線から隠す工夫がなされています。建物の2階部分の外壁には、建築工事中に使用した足場材や廃材をリサイクルした木材が、再利用されて貼られました。時間の経過に伴って、徐々に周辺景観に建物が馴染んで行くと思われます。

ガラスのファサード面は、昼間は内部の視線を屋外の街並景観へと開放すると共に、夜間は建築内部の光景を外部空間へ映し出し、1階内部で開催されるギャラリー展示やコンサートの様子が、前面道路に街の賑わいを演出してくれることでしょう。